

(中国乙08)

流行性出血熱発生推移

= 2025年11月度 =

発表: 2025年12月5日全国NDPCA

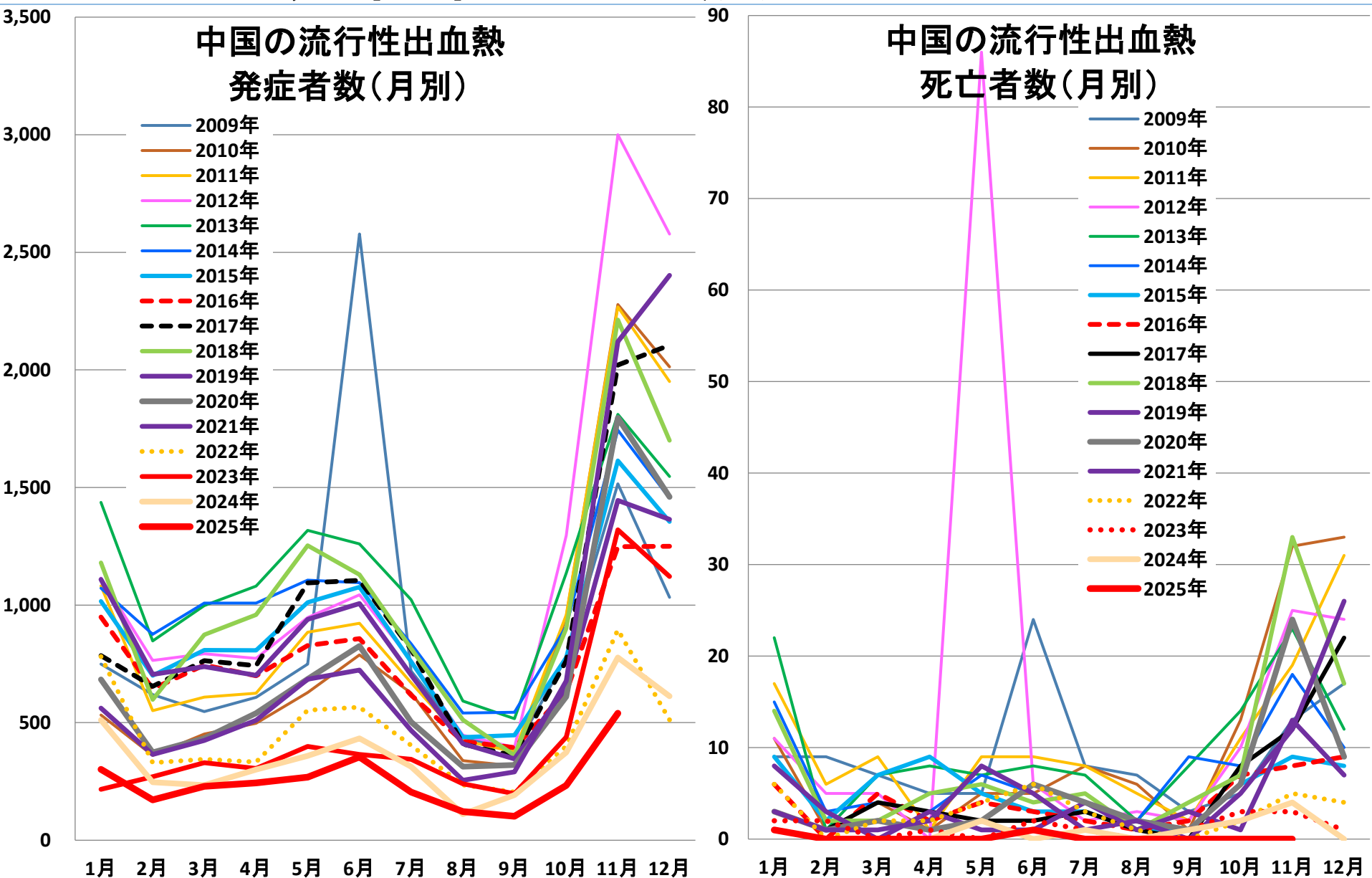
作成: 2025年12月6日
日中医療衛生情報研究所

流行性出血熱

中国の流行性出血熱は、

- 2009年を除き、毎年11月が発症ピーク月となっている。
- 6月にも小さなピークが見られる
- 年度別には2012年の13308例とをピークに漸減し、2016年以後、2017年を例外に下降している。
- 2020年は新型コロナによる都市封鎖の結果か2月以後は前年の半数近くに激減。
- 2021年は9,187例と増加、
- 2022年は5,218例と半減、
- 2023年は5,360例とやや増加、
- 2024年は4,464例と減少に（速報ベース）。

乙08：流行性出血熱



乙08：流行性出血熱

